

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年5月17日 第5号

水の上の都

朝正門で立っていると遠くのほうから元気な声で「おはようございます」と飛んできます。あいさつの達人。このあいさつの達人が増えてきました。

先日の放送集会で紹介した通り。もうひとつ集会では、6年生が遠足で訪れた京都のお話をしました。少し掘り下げてみます。

京都といえば神社仏閣ですが、お土産を買おうとすると、和菓子やお茶、お漬物、豆腐、などがあげられると思います。京料理の基礎は、出汁(だし)。出汁がおいしいので、お料理もいい味になります。

和菓子、お茶、豆腐、出汁といずれも水が必要です。

実は、京都盆地の地下には、日本一の大きさの琵琶湖を超える大きな地下湖があります。

下賀神社には御手洗池(みたらしいけ)という湧水が湧いてきてできる池があります。冬場は、ほとんど水がないのですが、暑くなってくる今の時期あたりから少しずつ地下水が沸き上がってきて、灼熱の夏になると膝の高さまでの水位になります。ここに暑い夏足をつけると10秒もしないうちに、体全体に冷たさが伝わり、足をつけているのがつらいほど。

なぜ水が湧くのか。所説ありますがはっきりとわかっていません。また、京都の地下湖について、構造や仕組みについてもまだまだ研究途中。

世の中には、まだまだたくさんの「謎」があるのです。

たくさん勉強を積んで、たくさん残っている「謎」に挑んでほしいと思います。おっと、言い忘れてましたが、水がおいしいのでお〇もおいしい。

〇に入る漢字も「謎」ということにおきます。